

現代経営学応用研究(アントレプレナーファイナンス)

2016年度 後期 金 5・6限(18:20-21:30)

担当教員 尾崎弘之、忽那憲治、山本一彦、保田隆明 単位数 1

授業のテーマと目標

ベンチャー企業のアントレプレナーは、不確実性の高い事業環境で高度な経営的意思決定を行うために、「ビジネスプランニング」とそのための「ファイナンス」に関わる知識の習得が不可欠です。もちろん、こうした知識は独立系ベンチャー企業のアントレプレナーのみに求められるものではなく、企業のなかで新規事業を創造するコーポレート・アントレプレナーや、大学発ベンチャーを運営するアカデミック・アントレプレナーにとっても不可欠なものです。いくらすばらしい事業アイデアや技術を持っていても、「ビジネスプランニング」の知識なくしては、アイデアを事業計画に展開することはできません。さらに、ファイナンスの知識なくしては、成長のためのリスク資金を調達することも、株式公開や M&A という投資回収に向けた有効な資本政策を考えることもできません。

ベンチャー企業にリスク資金を供給するベンチャーキャピタリストにおいても、投資先企業に対して付加価値の高いサービスを提供するためには、ビジネスプランニングやファイナンスに関する理論に基づいた行動が重要です。

授業の概要と計画

講義の回数に限りがあるため、本講義では、①ビジネスプランニング、②アントレプレナーの活動段階、③ベンチャー企業のファイナンスの 3 つのテーマに絞ります。講義は主に、①担当教員からの基礎知識の説明、②グループ討論と全体討論の構成で行います。講義において活発なグループ討論や全体討論を行うことができるかどうかは、講義前に実施する個人研究の準備がどれくらい深く実施できているかによります。十分な予習をし、自分の意見をレポートにまとめて出席してください。グループ討論は 4～5 名程度のグループを組織して行います。メンバーについては毎回の講義で決めることにします。

講義内容

■受講を考えるに当たって

アントレプレナーシップ(企業家活動、企業家精神)の重要性やわが国の現状について理解していただくために、まずは下記の文献を読んでみてください。これらを読んで、アントレプレナーシップの学習の必要性を感じた人は、是非受講してください。

ティナ・シーリグ『20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』阪急コミュニケーションズ、2010年。

ウィリアム・バイグレイブ、アンドリュー・ザカラキス『アントレプレナーシップ』日経 BP 社、2009年、第 1

章「起業家革命の時代」

忽那憲治『中小企業が再生できる8つのノウハウ』朝日新聞出版、2010年、序章と終章

■第1回(2月17日) ファイナンスに成功するビジネスプランの作成 担当:尾崎

【テーマ】

1. ビジネスプランにおける「ヒト」「モノ」「カネ」の役割
2. ビジネスプラン作成の実践と発表
3. 発表に対する講評と議論

【第1回講義の予習と課題】

講義の前半は座学、後半は、グループ討議、一部学生による発表、発表に対する講評と議論という流れになります。

後半の準備として、各自「ヘルスケア」「環境」のいずれかをテーマに、ビジネスプランを下記要領にしたがって作成してください。自分自身が起業家になったと想定してください。会社業務に関係するもの、しないもの、どちらでも結構です。自社の秘密情報に抵触しないよう気を付けてください。レポートは二部印刷して、一部を提出(授業開始時)、もう一部を自分のメモとして使ってください。

レポートに記載する内容

下記の項目を含んで作成のこと。任意の追加項目があっても構いません。

1. アイディアの内容

- 中身を簡潔に説明。どのようなビジネスモデルで成り立つのか？

2. 差別化要因

- 何故、そのアイディアが優れているのか？

3. 競合の状況

- どのような企業と競合するか？アイディアが具体的にならない場合、競合分析を中心にしても構わない。

4. アイディアを推進するうえでの問題点

- 実現するうえで、どんな課題が考えられるか

財務、人事、商品開発、製造などの精緻な分析は求めません。ビジネスモデルを分かりやすく記載してください。

A4用紙1枚～5枚(図表含む)。ワードで作成のこと。

■第2回(2月24日) ケースで学ぶビジネスプランニング 担当:保田

【テーマ】

1. 優れたビジネスプランとは、どのようなものか。

2. 競争力のあるビジネスモデルを構築するにあたって、どのような要素を検討する必要があるのか。
3. 競争力のあるビジネスモデルかどうかをチェックするにあたって、どのような方法を用いればよいのか。

【第2回講義で取り上げるケースと課題】

ウィリアム・バイグレイブ、アンドリュー・ザカラキス『アントレプレナーシップ』日経BP社、2009年、第7章のケース「ピーコリーノ」を取り上げます(書籍の入手が困難なため、ケースのコピーはBEEFにアップしておきます)。このケースを読んで、下記の2つの質問について自身の考えをレポートA4、5枚以内にまとめ、講義開始前にTAに提出してください。課題レポートをまとめる際、忽那憲治『中小企業が再生できる8つのノウハウ』朝日新聞出版、2010年、のノウハウ1(40ページ~65ページ)で説明している手順の1から3に従って分析を行ってください。

質問1:このビジネスプランの優れている点を3つ指摘してください。

質問2:このビジネスプランの改善が必要な点を3つ指摘してください。

■第3回(3月3日) デザイン思考 担当:保田

【テーマ】

1. デザイン思考とは?
2. なぜデザイン思考が求められるのか
3. デザイン思考の実践

スタンフォード大学のd.school始め、国内外の多くの大学で教えられているデザイン思考について学びます。潜在ニーズを洗い出して、商品開発、新規事業立案に生かすノウハウは、企業の規模や業種の違いに関係なく有益なツールです。

【第3回講義の予習と課題】

受講に際しては、佐宗邦威著『21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由』(クロスメディアパブリッシング)を事前に読んでください。事後課題として、①書籍のサマリーと、授業で行ったワークショップを受けて、②デザイン思考をどのように自社の業務に役立てることができそうかをレポートA4、5枚以内にまとめ、3/11(土)17:00までにBEEFで提出してください。

■第4回(3月10日) ベンチャー企業、アントレプレナーとファイナンス 担当:忽那、山本

【テーマ】

1. ベンチャー企業とは何か?
2. アントレプレナー、ブレイクスルー、イノベーションとは?

3. ベンチャー企業の成り立ちと成長、ファイナンス

4. ベンチャーキャピタルの歴史と仕組み

ベンチャー企業、アントレプレナーのファイナンスに関する講義を行います。リスクの高いイノベーションに挑戦、実現することによって社会的・経済的価値を創出するためには、そのリスクに耐えることができるリスクキャピタルの調達が不可欠です。第4回講義では、日米のベンチャー企業の現状比較から始まり、アントレプレナーの活動段階におけるブレークスルーとイノベーションの違い、ベンチャー企業のファイナンス・プロセスやベンチャーキャピタルの概要などを幅広く学びます。その上で、日米のベンチャー企業のファイナンスの違いと、それが事業創造にどのような影響を与えているのかについてグループ討論等を行います。

講義120分、グループ討論30分、全体討論30分

【第4回講義予習と課題】

受講に際しては、忽那憲治、山本一彦、上林順子編著『MBA アントレプレナー・ファイナンス入門』の第1章 1.1「ファイナンスとアントレプレナー」と1.3「ベンチャー企業の組成と成長」を事前にしっかりと読んで予習して参加することが前提となります。

課題として、第4回講義を受講し討論して、日本のベンチャー企業に係るファイナンスと事業創造の今後のあり方について自身の考えをレポートA4、5枚にまとめ、3月18日(土)の17時までに BEEF に提出してください。

【テキスト】

忽那憲治、山本一彦、上林順子編著『MBA アントレプレナー・ファイナンス入門』中央経済社、2013年。

成績の評価方法

課題レポート(4回) 80%

出席 20%

■第1回から第4回の課題については、A4で5枚以内にまとめたレポートを提出してください。課題提出についての評価が20点×4回=80点(レポートは0、5、10、15、20点の5段階で評価します。)

■出席点が、5点×4回=20点

期末試験は実施しません。

講義資料

講義では、基礎知識の説明に関して、担当教員が作成したパワーポイントのスライドを使用します。こ

のファイルについても、受講生にはファイル形式で配布致します。紙ベースでの配布はしませんので、各自印刷して講義に出席してください。ファイルは BEEF から入手してください。

受講生へのメッセージ

■ ケース討論およびゲスト講師との討論に積極的に参加しようという意志のある学生の受講を希望します。

■ アントレプレナーファイナンスに関する講義ですので、単に単位修得のためというのではなく、何事にも積極的に、創造的に取り組む気概のある学生、企業家精神に富む学生の受講を希望します。

■ 講義開始から 40 分まで(19:00 まで)は遅刻を認めます。それ以降の教室への入室は、ケースのグループ討論への参加に影響を与えますので、認めません。したがって欠席扱いとなります。4 回の講義のうち 1 回の欠席は認めますが、欠席 2 回で単位修得の資格を喪失します。

■ 質問があれば、hoda@port.kobe-u.ac.jp(保田隆明)まで連絡をください。

■ 京都大学の学生は、BEEF での課題提出ができないので、教員までメールをして提出してください。また、講義資料もメールで請求してください。

第 3 回事後課題：hoda@port.kobe-u.ac.jp(保田隆明)

第 4 回事後課題：kutsuna@kobe-u.ac.jp(忽那賢治)